

○川口支部高松彦外四名が東林に改打され
た事件の所業

(前井二回) 六月十八日

○川口伊藤半議公表会申込の総同盟案に賛
成し出席者決意

白鳥 春日 難波 山本 高島 左橋

関東合同労働組合本部一報報告

はしがき

過去一ヶ年の本組合の活動は、理事會記
録に依つて明かなる如く、実に至綱、小丈
である。

本組合が日本に於ける無産階級運動の戦線
、分裂主義に反対して労働組合の統一、無
産政党の統一を計るを唯一の目標として起
つてより既に二ヶ年、一月を経た。我等の支
持する大衆党たる日本労働党の今日の状況は、
我等の希望する組合同盟の今日の状況は、
困難なりし現実の諸対立抗争と宗派分裂政
策の波瀾を押し切つて今や統一戦線意欲の諸
労働組合を高揚し得た。今日の労働組合と無
産政党の切迫する問題は「統一戦線」の激言
鐘乱打から一歩前進して、「如何にして統

一すべきか」と言ふ具体的運動の提唱に
る。組合同盟昭和三年大会中此の大衆の
要求なる「戦線統一」提議を決議し、統一
をせられたる日本労働組合総聯合の全国労
働組合會議の提唱の支持と参加とを宣明し
た。

四方五列の我が國労働組合の大結合を完成
する如き。これ今日の我が労働運動の状況
と方向とである。本組合は、此の愧れなき
状況に満腔の敬意を払い、「之が實現を
目標として本大会に臨むものである。

資本の攻勢

昨年春の金融恐慌以来引續て資本の攻勢
は猛烈を極めた。彼等の産業の合理化は愈
上激烈に無産階級の生活をかきめかした。
工場閉鎖、賃銀切下と失業とは洪水の如く、